

## [B] アジア・太平洋戦争

太平 洋 戰 爭		政 治 ・ 外 交
<p>1941. 12. 8 <b>真珠湾攻撃</b> (アメリカ太平洋艦隊の主力を壊滅)</p> <p>1941. 12. 8 マレー半島上陸 (イギリス東洋艦隊の戦艦を撃沈)</p> <p>前身は 東亜新秩序 →欧米勢力の植民地支配からアジア諸民族の解放を掲げる アジアへの侵略政策を正当化するためのスローガン cf. <b>大西洋憲章</b> (連合国が発表した第二次大戦の戦争目的)</p> <p>1942. 2 シンガポール 占領 (イギリス軍守備隊が降伏) →この勢いに乗じて、議会での軍部の勢力も確立しよう</p> <p>1942. 6 ミッドウェー海戦 (空母などの壊滅的打撃を受け敗北) →制海権・制空権を失い、これ以降戦局は不利に転換</p> <p>1942. 8~ ガダルカナル島戦 (1943年2月に日本軍が撤退)</p> <p>1943. 5 アッツ島の戦い (日本軍2500人が初の玉砕) →のち、不利な戦局を開拓するため大東亜会議を開催 [戦時体制] 学徒出陣 勤労動員 女子挺身隊 (文系大学生を召集) (学生を軍需工場に動員) (未婚女子を軍需工場に動員)</p> <p>1944. 7 サイパン島陥落→内閣総辞職 サイパン島がB29を中心とした米軍機の日本爆撃の基地となる ★学童疎開 (学童を集団で地方に避難させる) が始まる →これ以降本土空襲が本格化するため</p> <p>1945. 2 硫黄島の戦い (日本軍2万人が玉砕) ←</p> <p>1945. 3. 10 東京大空襲 (B29爆撃機による焼夷弾爆撃)</p> <p>1945. 4 沖縄上陸→内閣総辞職 鉄血勤皇隊 (男子の戦闘要員)・女子学徒隊 (女子の看護要員) ex. ひめゆり隊 (沖縄師範女子部・県立第一高女の看護隊)</p> <p>1945. 6 沖縄占領 (→日本軍による住民への集団自決の強制) →</p> <p>1945. 8. 6 広島原爆投下 (ウラン型)</p> <p>8. 8 ソ連の対日参戦 (満州国・南樺太・千島列島などに侵攻) ヤルタ協定に基づきソ連が侵攻(日ソ中立条約を破る) ★シベリア抑留 (日本軍兵士・民間人が収容所で強制労働) 中国残留孤児 (中国人の養父母に育てられた日本人孤児)</p> <p>8. 9 長崎原爆投下 (プルトニウム型)</p> <p>8. 14 ポツダム宣言受諾 (御前会議で最終決定) →終戦の詔書 (天皇が詔書を録音し、翌日にラジオ放送)</p> <p>8. 15 玉音放送 (天皇が戦争敗北を国民へ伝える) →内閣総辞職</p> <p>1945. 9. 2 降伏文書調印 (東京湾停泊中の米戦艦ミズーリ号上で調印) 全權=重光葵 [外相]・梅津美治郎 [参謀総長] ★以降、サンフランシスコ平和条約(1951)が発効される 1952年までの7年間、連合国による占領政策が行われる</p> <p>[戦時の文学] 火野葦平『麦と兵隊』(1938) (日中戦争に従軍した筆者の小説) 100万部超のベストセラーとなる</p> <p>石川達三『生きてゐる兵隊』(1938) (日本軍の残虐性を描写) 発売直後に発禁処分となる</p>	<p>〔皇民化政策〕 (内鮮一体を提唱した朝鮮人への同化政策)]</p> <p>①神社参拝の強要 (1937) (朝鮮神社への参拝) 日中</p> <p>②日本語常用の強制 (1938) (朝鮮語教育の廃止) 戦争へ</p> <p>③創氏改名 (1940) (朝鮮人を日本式名に改姓させる)</p> <p>④徵兵制の実施 (1943~) ★台湾では1944年から実施</p> <p>⑤朝鮮人の強制連行 ex. 慰安婦 (日本兵への性奉仕) 中国人強制連行 ex. 花岡事件 (1945) →秋田県で大量殺害</p> <p>1942. 4 翼賛選舉 (第21回衆議院議員総選挙) 大政翼賛会の推薦する候補者466名中381名が当選 →当選した議員が翼賛政治会 (1945年に大日本政治会) 結成 ニ事実上の一國一党体制が成立</p> <p>1943. 9 イタリア 降伏 (無条件降伏を受諾)</p> <p>1943. 11 大東亜会議 (占領地域の代表を集めた会議) 大東亜共同宣言を発表 (大東亜共栄圏の結束を強化) →アジアの団結を対外的に誇示するための会議 (大東亜会議の開催後に連合国が会談) 連合国との協力関係を誇示</p> <p>1943. 11 カイロ宣言 (大東亜会議開催後のカイロ会談で発表) ローズヴェルト (米)・チャーチル (英)・蔣介石 (中) ★朝鮮の独立、満州・台湾・澎湖諸島の中華民国への返還、 南洋諸島の委任統治権剥奪など日本の領土問題方針を協議</p> <p>1945. 2 ヤルタ協定 (クリミア半島のヤルタ会談で成立) ローズヴェルト (米)・チャーチル (英)・スターリン (ソ) ★秘密協定で南樺太・千島列島のソ連への引き渡しを条件に ドイツ降伏後から2~3ヶ月以内のソ連の対日参戦を了承</p> <p>1945. 5 ドイツ 降伏 (無条件降伏を受諾)</p> <p>1945. 7 ポツダム宣言 (ベルリン郊外のポツダム会談で発表) トルーマン (米)・チャーチル (英)・スターリン (ソ) →のちアトリー (総選挙の保守党圧勝による) ★ローズヴェルトの死去(1945.4)により副大統領から昇格 ①軍国主義の除去・②カイロ宣言に基づく日本の領土制限 ③戦争犯罪人の処罰 (民主主義の復活・基本的人権の尊重) ④米 (トルーマン)・英 (アトリー) 中 (蔣介石) 3国の名で 日本国軍隊への無条件降伏を勧告 (→日本政府は黙殺) まだソ連は対日参戦していないので署名せず</p>	
<p>東條英機 (陸軍大将)</p> <p>二・二六事件で襲撃された</p> <p>小磯国昭 (陸軍大将)</p> <p>鈴木貴太郎 (海軍大将)</p> <p>東久邇宮稔彦 (皇族)</p> <p>(敗戦処理内閣)</p>	<p>The map illustrates the Pacific theater of World War II. It shows the Japanese Empire's extensive territorial gains by 1942, including Manchukuo, Korea, parts of China, and various island territories. The map highlights the Battle of Midway in 1942, the fall of Saipan in 1944, and the Japanese invasion of the Soviet Union in 1945. Major cities like Tokyo, Nagoya, and Sapporo are marked. The map also shows the locations of major battles such as the Battle of the Coral Sea, the Battle of Guadalcanal, and the Battle of Okinawa. The final outcome shows the Japanese mainland under Allied occupation.</p>	